

第14回 NCNP多発性硬化症カンファレンス

症例検討

1: 高齢発症のTumefactive MSと考えられた65歳
男性例

(NCNP病院 神経内科 佐野輝典先生)

2: 主に精神症状で17年経過し、フィンゴリモド投与後
にてんかん重積発作が出現した多発性硬化症26歳
女性例

(NCNP病院 神経内科 田港朝也先生)

講演: ゲノム医学の実践と疾患解明への応用

(NCNP病院 神経内科 高橋祐二先生)

日時: 2013年10月8日(火)18:30-20:00

場所: 研究所3号館1階 セミナールーム

NCNP多発性硬化症センター
(世話人: 佐藤 和貴郎, 岡本 智子)